

西海学園高等学校 年間学習指導計画

科目	単位数	2
論理国語	コース 学年	進学・3年
使用教科書・副教材等	新編論理国語（東京書籍）	新訂版 最新国語便覧（浜島書店）

1 学習の到達目標

- ・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通じて、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。
- ・実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。
- ・他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広めたり深めたりすることができるようにする。
- ・言語活動の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元（教材）名	学習のねらい	主な学習活動
1	4	安心について	<ul style="list-style-type: none"> ・文章構成に注意して筆者の考えを理解し、安心というものの本質について考える。 ・言葉と思考の関係について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漫画の内容を把握する。 ・漫画の内容とシュルツの半生との関わりを理解する。 ・子供にとっての「安心」とは何かを理解する。 ・老人にとっての「安心」とは何かを理解する。 ・「安心」というものを筆者がどのように捉えているかを考える。
	5			
	6	ロボットが隣人になるとき	<ul style="list-style-type: none"> ・哲学的な思考に沿って書かれた評論を読んで、人間の意思や自由について理解を深める。 ・的確な表現の仕方について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「意思」「自由」という言葉の意味に注意して、本文を通読する。 ・「この問いは、単純な技術の問題ではない」とあるが、その理由を考える。 ・「意思」と「欲求」はどのように異なるのかを読み取る。 ・「ロボットは社会的な存在になれるだろうか」という問いに対する筆者の考えをまとめる。 ・「対等の隣人」に対する筆者の考えをまとめる。 ・自分の考えを相手に的確に伝えるための表現について理解する。
2	9	最初のペンギン	<ul style="list-style-type: none"> ・タイトルに象徴される筆者の考えを手がかりにして、自分の考えを生き方について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「神」と「人間」の対立図式を確認する。 ・「最初のペンギン」の行動の意味を確認する。 ・「感情」「決断」「直観」などの意味を確認し、不確実性の中で決断の必要性和、感情の技術を磨く必要性を理解する。 ・創造することは未知の世界にジャンプすることだという筆者の主張を理解する。 ・「不確実な状況下」でどう判断して行動するかということについて理解する。
	10			
	11	もう一つの知性	<ul style="list-style-type: none"> ・科学的思考とは異なる思考のあり方を理解し、現代社会を生きるうえで必要な態度について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報化社会とはどのような社会を言うのか考える。 ・各段に述べられている「知の在り方」に注意する。 ・子供と父親の例から「知的な人間」について考える。 ・筆者の考える本来の「知性」の在り方とは何かを考える。 ・アメリカの先住民や医療現場の話から科学技術の発達とともに知性がどのように変化のかを考える。 ・トルストイの人生論の話は何を意味しているのかを考える。

学期	月	単元（教材）名	学習のねらい	主な学習活動
2				<ul style="list-style-type: none"> ・「ブリコラージュ」的な知とはどのような知の在り方なのかを考える。 ・筆者の母親の話から「ブリコラージュ」的な知の意味を考える。 ・筆者の主張について理解する。
	12	鏡としてのアンドロイド	<ul style="list-style-type: none"> ・アンドロイドの研究を踏まえた評論を読んで、人間に対する筆者の考えを捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「技術開発」にもたらず「新たな意味」とは何かを読み取る。 ・「他人は、自分を映し出す鏡のようなものだ」とはどのようなことなのかを考える。 ・「乏しい表情」と「止まったアンドロイドのような完全な無表情」の違いについてまとめる。 ・「人間についての根本的な疑問」と「創造的な活動」との関係を読み取る。
3	1			<ul style="list-style-type: none"> ・「何かを作り出す」ことについての筆者の考えをまとめる。